

■ 令和4年度第1回 八戸市健康福祉審議会 社会福祉専門分科会 会議録

日 時	令和4年8月23日（火） 13:30～14:45	
場 所	八戸市庁 本館3階 第二委員会室	
出席委員	間山 路代 委員 東山 国男 委員 坂本 美洋 委員 吉田 守実 委員 吉田 朝子 委員	岡田 圭逸 委員 荒川 繁信 委員 上田 武男 委員 慶長 洋子 委員 以上9名
欠席委員	伊藤 恵美子 委員	以上1名
事務局	○福祉部 : 池田部長兼福祉事務所長、山道次長兼福祉政策課長、 工藤次長兼障がい福祉課長 ・福祉政策課 : 西村 GL、ほか福祉政策課職員2名 ・高齢福祉課 : 館合課長	以上7名
議 事	1 第3期八戸市地域福祉計画の令和3年度実績報告について 2 八戸市民保養所「洗心荘」の在り方の検討について	
結果概要	上記議事について順に報告・説明し、委員の了承を得た。（別紙、議事詳細）	

▼ 会議内容

次第

- 1 開会
- 2 専門分科会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第3期八戸市地域福祉計画の令和3年度実績報告について
 - (2) 八戸市民保養所「洗心荘」の在り方の検討について
- 4 閉会

議事の概要

配付資料に基づき、以下のとおり説明を行った。

- 議事（１）第３期八戸市地域福祉計画の令和３年度実績報告について
 - ・資料１のとおり事務局から説明
- 議事（２）八戸市民保養所「洗心荘」の在り方の検討について
 - ・資料２のとおり事務局から説明
 - ・臨時委員２名を新たに委嘱し、今後当専門分科会において、洗心荘の在り方について検討していくこととした。

主な質問・意見

- 議事（１）第３期八戸市地域福祉計画の令和３年度実績報告について

Q. 資料１「福祉サービスの苦情相談・解決事業」(P.19) について、実施状況にある苦情・相談件数は八戸市民から寄せられたものか。

⇒ A. お見込のとおり。

Q. 子どもの貧困・引きこもり問題への対応について、八戸市地域福祉計画ではどのように位置付けられているか。

⇒ A. 市の別の附属機関である「八戸市子ども・子育て会議」において進行管理している「八戸市次世代育成支援行動計画」の中に位置付けて対応しているため、八戸市地域福祉計画では掲載していない。

- 議事（２）八戸市民保養所「洗心荘」の在り方の検討について

Q. 新たな検討委員会の設置ではなく、既存の社会福祉専門分科会で審議することとした経緯を伺いたい。

⇒ A. 新たな検討組織の設置には条例改正が必要となり時間がかかること、また、現在の社会福祉専門分科会が福祉や保健医療、地域支援といった各分野の関係者や学識経験者で構成され、市の健康福祉施策への理解が深く、市の保養事業の在り方を検討するのに適した組織であることから、このような判断に至った。

Q. 臨時委員２名の候補について、可能な範囲で教えていただきたい。

⇒ A. 具体的な人選については現在検討中であるが、１名は公共施設マネジメントや施設運営などの専門的な知見を有する方に、もう１名は利用者側として、老人クラブに次いで洗心荘の団体利用が多い町内会関係者を候補として検討している。

Q. 専門分科会として委員全員で洗心荘を視察する機会はあるか。

⇒ A. 洗心荘は八戸市内から車で片道約1時間半、往復約3時間の場所にあり、施設見学には半日以上を要するため、現時点では予定していない。視察を希望される場合は、各自でお願いしたい。

Q. 当専門分科会での結論をもとに募集要項を制定し、次期指定管理者を選定するということか。

⇒ A. 意見がまとまった段階でそういった対応も含めて市が判断する必要があると考えている。
委員の皆様には、これから行うアンケート調査の結果も踏まえて、幅広い視点から在り方を検討いただきたい。

Q. アンケート調査の設問1について、年代が10代から80代まで選択肢があるが、回答する年代が偏ると全体の回答に影響が出ると考えられる。

また、長期的な視点で見ると、若い世代からの回答も重要と思われる。

施設利用者や市政モニター以外の、その他一般市民からも多くの回答を得るための対策は考えているか。

⇒ A. 回答者のカテゴリごとに分類して集計する必要があると考えているが、その他一般市民からどれだけ回答が得られるのか想定はできていない。SNSでの周知のほか、回答状況を見ながら追加の対策を検討してまいりたい。